

## 令和元年東日本台風水害から 1 年

～地域と連携を図りながら、災害復旧の推進そして河川整備を加速～

令和元年東日本台風からまもなく 1 年が経過するにあたり、災害発生から現在までの東北地方整備局による災害復旧と河川整備の実施概要について発表します。

- 堤防決壊した阿武隈川の浜尾地区堤防(福島県須賀川市)では、仮堤防の整備後に本復旧に着手し出水期前の今年 5 月 30 日に完成しました。吉田川の粕川地区堤防(宮城県大郷町)は、新たなまちづくりに向けて大郷町と調整しながら堤防の本復旧を進めています。
- 洪水で被災した堤防や護岸等の復旧は、東北地整全体で164箇所(直轄及び権限代行)のうち約9割(143箇所※[今年9月末])で工事に着手しています。
- 浸水被害の軽減等を目指して緊急治水対策プロジェクト(阿武隈川と吉田川)に取り組んでおり、主要対策の河道掘削は、目標掘削量約 440 万 $m^3$ (概ね5年間)に対して今年度は約 85 万 $m^3$ (目標値の約2割)の掘削を工事中です。
- 今後とも地域と連携しながらプロジェクトを推進し、安全で安心できる東北づくりを進めます。

(参 考) 緊急治水対策プロジェクトの概要※

※緊急治水対策プロジェクトの概要は東北地方整備局 HP にも掲載しております。  
<https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/index.html>

### 「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」

令和元年東日本台風により阿武隈川水系阿武隈川では、堤防決壊、越水、溢水により事業所、家屋等の浸水等、甚大な被害が発生しました。また、阿武隈川本川の水位上昇に伴い、支川の氾濫や内水被害等、甚大な被害が発生しました。この災害に対して、関係機関が連携しとりまとめた「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」を踏まえ国・県が連携し、築堤、河道掘削、遊水地整備等の治水対策を概ね 10 年で実施します。

<河川における対策> 【総事業費】約 1,840 億円 【事業期間】令和元年度～10年度  
【主要事業】河道掘削(約 3 百万 $m^3$ )、築堤整備、遊水地整備ほか

### 「吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクト」

令和元年東日本台風により、鳴瀬川水系吉田川では、堤防決壊、越水、溢水により事業所、家屋等の浸水等、甚大な被害が発生しました。この災害に対して、関係機関が連携しとりまとめた「吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクト」を踏まえ、国・県が連携し、築堤、河道掘削等の治水対策を概ね 5 年で実施します。

<河川における対策> 【総事業費】約 271 億円 【事業期間】令和元年度～6年度  
【対策内容】河道掘削(約 1 百万 $m^3$ )、築堤整備ほか

<< 発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、  
福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、郡山市記者クラブ >>

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

河川部 河川工事課長 安部 剛 (内線 3711) 022-225-2171 (代)

## ●全体の概要

- 堤防決壊した阿武隈川上流と吉田川の堤防復旧は、速やかに復旧工事に着手して仮堤防を整備しました。その後に阿武隈川では出水期前に堤防の本復旧を行い完了しました。(令和2年5月)吉田川は本復旧\*までに時間を要することから、出水期までに堤防決壊箇所周辺の河道掘削を行って安全度を確保しました。

※本復旧は大郷町のまちづくりと調整を図りながら整備を進めている(R5年度完成予定)

- 令和元年東日本台風で被災した東北地方整備局が施工する堤防や護岸などの164箇所\*<sup>1</sup>の河川施設被害に対して、災害復旧工事の着手率は87%(約9割)の143箇所\*<sup>2</sup>で工事を実施中(R2年9月末時点)であり、今年度内の完成を目指しています。

※1 被災箇所は、阿武隈川上流(支川含む)、阿武隈川下流(支川含む)、鳴瀬川、吉田川、善川、雄物川上流、最上川上流

※2 残箇所は今後配分の予算で対応予定

- 浸水被害の軽減等を目指して「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト\*」「吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクト」を、国・県が連携してハード整備及びソフト対策に取り組んでいます。

※権限代行区間の内川、新川、五福谷川を含む

- プロジェクトの主要対策として洪水位の低減に寄与する河道掘削を進めており、両プロジェクト合わせて目標掘削量約440万m<sup>3</sup>(概ね5年間)に対して今年度は約85万m<sup>3</sup>(目標値の約2割)となっています。

## ●阿武隈川下流(内川、新川、五福谷川の権限代行区間の3河川)

- 宮城県丸森町を流れる阿武隈川支川の内川等3河川は、宮城県知事からの権限代行要請により国が災害復旧等の工事を現在進めています。3河川に堆積した土砂掘削により丸森町市街地の洪水からの安全性を被災前の水準まで回復しました。また掘削土砂は、亘理町と調整を図り大震災で地盤沈下した荒浜海水浴場に運んで砂浜の嵩上げを図ることで、震災復興にも寄与しています。
- 甚大な土砂災害が発生した3河川上流部については、国直轄で砂防事業に着手して砂防災害関連緊急事業として昨年10月から整備を実施し、強靱ワイヤーネット工4箇所と床固工3箇所が完成しました。現在、砂防えん堤工事の施工を準備中です。

## ●阿武隈川上流(直轄区間)

- 阿武隈川に新たに遊水地を整備すべく令和2年7月に直轄管理区間を5.6km延伸。整備区間となる沿川3町村(鏡石町、矢吹町、玉川村)に協力いただき、地元への説明を実施中です。

## ●吉田川(直轄区間)

- 堤防決壊の背後地の吉田川粕川地区では、新たな水害に強いまちづくりを目指して、大郷町と連携を図りながら堤防整備に向けて事業を進めています。

# 吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクト

## ～大規模氾濫被害の最小化に向けた、より水害に強いまちづくりの実践～

【令和2年度版】

○令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した鳴瀬川水系吉田川において、国、県、市町が連携し、「吉田川・新たな水害に強いプロジェクト」を進めています。

○国、県、市町が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、より水害に強いまちづくりを目指します。

①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】

②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】

③減災に向けたさらなる取り組みの推進【ソフト施策】

○令和2年度は、決壊箇所の本格的な災害復旧や、河道掘削等の改良復旧、雨水貯留施設の整備(流域対策、ソフト施策)を進めていきます。

### 【位置図】



河川における対策	
■全体事業費	約271億円 【国：約267億円、県：約4億円】
災害復旧	約30億円 【国：約26億円、県：約4億円】
改良復旧	約241億円 【国：約241億円】
■事業期間	令和元年度～令和6年度
■目標	令和元年東日本台風洪水における本川からの越水防止
■対策内容	河道掘削、堤防整備等

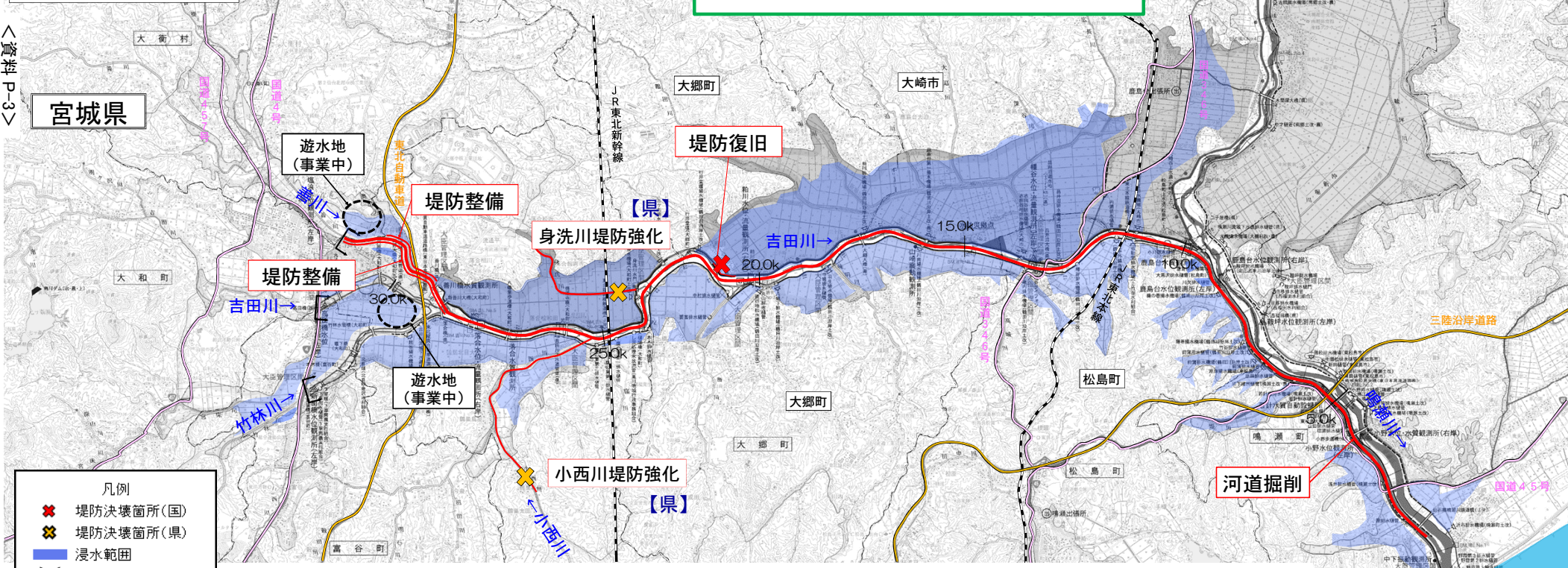
※県管理河川における新たな事業採択により事業費が追加されました。

流域における対策	
・	水防災拠点の拡張、増設
・	内水対策（雨水貯留施設・調整池・排水路整備）
・	避難、復旧道路の嵩上げ
・	排水機場の非浸水化 等

ソフト施策	
・	地区別ハザードマップ等の作成
・	要配慮者サポーターの育成
・	防災行政無線屋外子局増設による避難体制の強化
・	浸水想定地域等のハザードエリアに対する移転建替え等補助制度 等



＜資料P-3＞



凡例	
✖	堤防決壊箇所(国)
✖	堤防決壊箇所(県)
■	浸水範囲
↔	大臣管理区間

※計数については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある。

# 阿武隈川緊急治水対策プロジェクト

【令和2年度版】

～本川・支川の抜本的な治水対策と流域対策が一体となった総合的な防災・減災対策～

- 令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した阿武隈川において、国、県、市町村が連携し、「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」を進めています。
- 国、県、市町村が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、より水害に強いまちづくりを目指します。
  - ①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】
  - ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】
  - ③減災に向けたさらなる取り組みの推進【ソフト施策】
- 令和2年度は、決壊箇所の本格的な災害復旧や、河道掘削等の改良復旧、危機管理型水位計・カメラの整備(流域対策、ソフト施策)を進めていきます。

## 位置図



## 河川における対策

- 全体事業費 約 1,840億円  
【国：約1,444億円、県：約396億円】
- 災害復旧 約 542億円  
【国：約229億円、県：約312億円】
- 改良復旧 約 1,298億円  
【国：約1,214億円、県：約84億円】
- 事業期間 令和元年度～令和10年度
- 目標 令和元年東日本台風洪水における本川からの越水防止
- 対策内容 河道掘削、堤防整備等

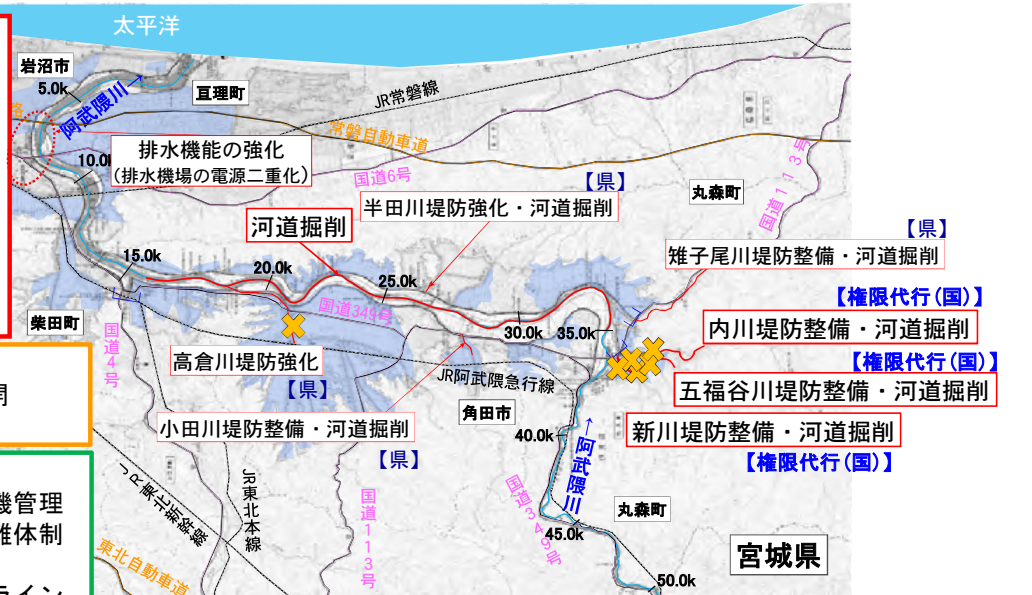
※県管理河川における新たな事業採択により事業費が追加されました。

## 流域における対策

- ・浸水リスクを考慮した立地適正化計画の展開
- ・一時貯留施設の設置

## ソフト対策

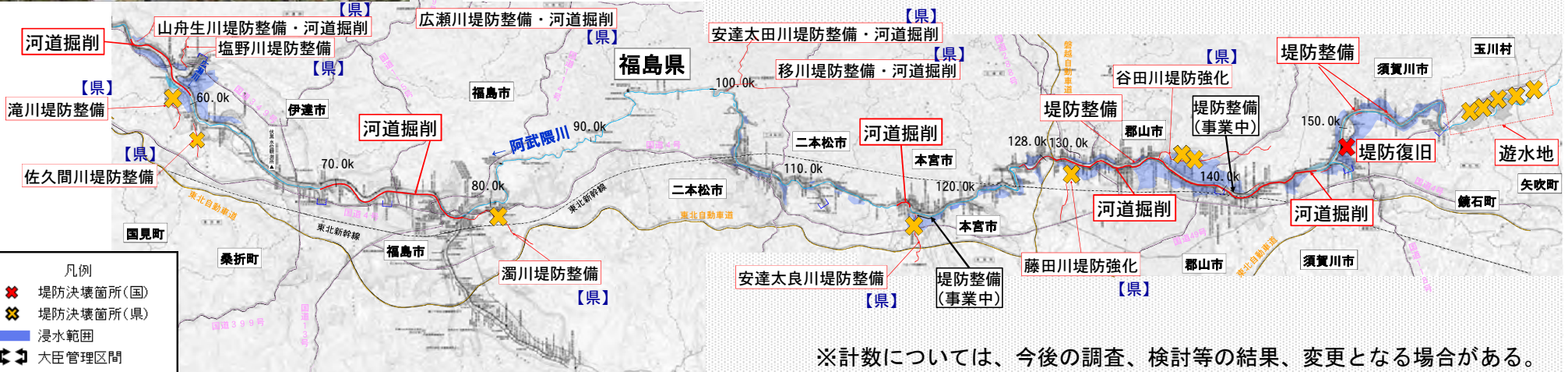
- ・バックウォーター現象を考慮した危機管理型水位計及びカメラの設置及び避難体制の構築
- ・中小河川や内水を考慮したタイムライン策定推進



＜資料 P-4＞



令和元年10月13日12時頃



※計数については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある。

# 緊急復旧箇所(堤防決壊・損傷)の本復旧工事状況

阿武隈川水系阿武隈川上流(浜尾地区)  
左岸 98.6k付近 L=50m

被災状況



本復旧完了



鳴瀬川水系鳴瀬川  
右岸 38.2k付近 L=40m

被災状況



復旧状況



鳴瀬川水系吉田川(粕川地区)  
左岸 20.9k付近 L=120m

被災状況



応急復旧完了



鳴瀬川水系吉田川  
左岸 14.8k付近 L=40m

被災状況



本復旧完了



# 改良復旧事業（洪水位の低減に寄与する河道掘削）の工事状況

## ○阿武隈川水系阿武隈川【河道掘削（福島市）】



伐採・掘削前（H31.4撮影）



伐採・掘削後（R2.8撮影）

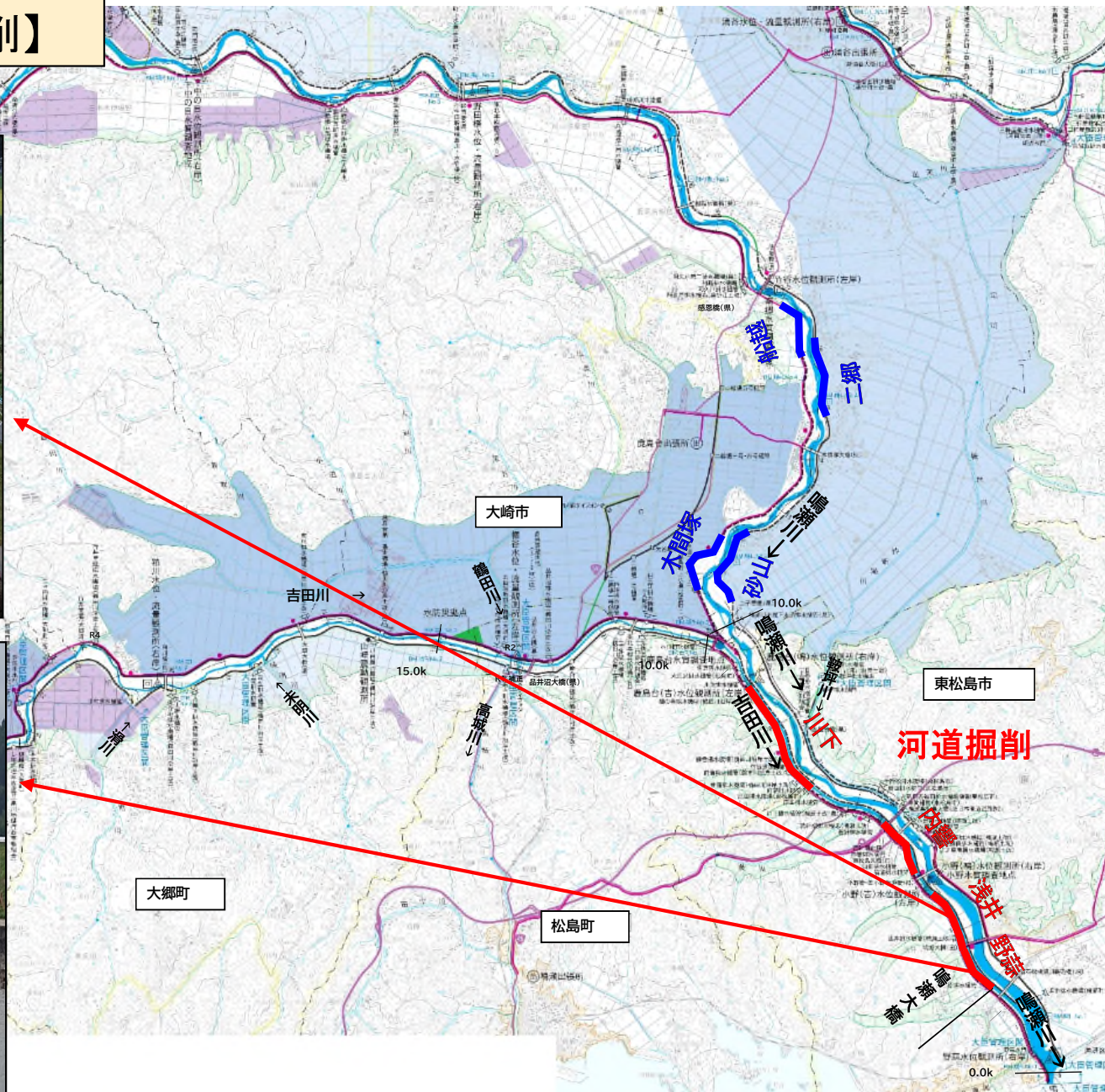
# 改良復旧事業(洪水位の低減に寄与する河道掘削)の工事状況

## ○鳴瀬川水系吉田川【河道掘削】

浅井地区



野蒜地区



# 改良復旧事業（洪水位の低減に寄与する河道掘削）の工事状況

○阿武隈川水系内川、五福谷川、新川 【河道掘削（丸森町）】

令和2年8月末時点

河道掘削（内川）

赤堀橋上流 施工前



赤堀橋上流 施工後



河道掘削（五福谷川）

五福谷橋下流 施工前



五福谷橋下流 施工後



河道掘削（新川）

飯塚橋上流 施工前



飯塚橋上流 施工後



# 改良復旧事業（洪水位の低減に寄与する河道掘削）の工事状況

## ○阿武隈川水系内川、五福谷川、新川 【河道掘削（丸森町）】

### ○河川工事

河道掘削（五福谷川）



河川、砂防工事で発生した残土、転石について、他事業等へ有効活用。（予定も含む）

荒浜海水浴場砂浜（亘理町）



砂防工事工事用道路盛土（五福谷川）



大型土のう製作設置（五福谷川）



道路復旧仮設道路盛土（国道349号）



### ○砂防工事

除石（五福谷川）



転石破碎（五福谷川）

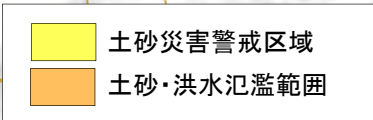


海岸事業（仙台湾南部海岸）



# 阿武隈川水系内川流域での国直轄による緊急的な砂防工事について

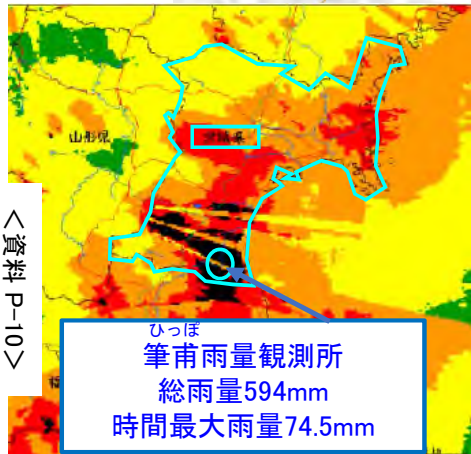
令和元年東日本台風(台風第19号)による豪雨によって発生した土砂災害に対して、砂防災害関連緊急事業を直轄で昨年10月に着手し、鋭意施工を進め現時点で強靱ワイヤーネット工4箇所と床固工3箇所が完成したところです。  
現在は、砂防堰堤の施工を準備中です。



砂防堰堤工 設置イメージ



内川 砂防堰堤工 イメージ図



＜資料 P-10＞

## 実施内容

	強靱ワイヤーネット工	4基
	床固工	3基
	砂防堰堤工	4基
(黒色は整備済み)	事業費	約22億円



# 砂防災害関連緊急事業 完成施設

## 内川

強靱ワイヤーネット工



床固工



## 五福谷川

強靱ワイヤーネット工



床固工



## 新川

床固工



施設効果発現事例

降雨後(1月31日撮影)



河床の洗掘を防止、土砂流出を抑制し、効果を発現

令和2年1月28～29日  
連続雨量138mm(気象庁 丸森観測所)

資料P-11